

400人が熱戦

◎2008鬼北町体育協会長杯卓球大会

鬼北町体育協会長杯卓球大会が12月20日と21日、鬼北総合公園体育館で開催され、南予地区の企業・クラブ・高校・中学校から約400人が参加しました。

開会式では、武井靖明鬼北町体育協会長が「9年後には愛媛県で国体が開催される。選手の皆さんは、今のうちに体力づくりに励み、瞬発力や体力をつけて今後の大会で活躍してほしい」とあいさつし、選手を激励しました。



▶熱戦を繰り広げる選手

大会は、トーナメント方式で行われ、高校・一般男女シングルス、同ダブルス、中学男子シングルス、中学女子シングルの6部門でそれぞれ白熱した試合が展開されました。

各部門の上位入賞者は次の皆さんです。

- ▼高校一般男子シングルス
 - ①越智優介(四国電力) ②谷本芳英(大洲高職員) ▼同ダブルス①山本真司(帝京第五高)・越智優介(四国電力) ②吉岡勝(JA)・森実洋規(JA) ▼高校一般女子シングルス①西村真梨絵(宇和島東高) ②岡田亜紀(宇和島東高) ▼同ダブルス①西野由香理(大洲TTA)・布彩佳(聖カタリナ大) ②西村真梨絵(宇和島東高)・山下春奈(宇和島東高) ▼中学男子シングルス①西川博教(城北中) ②里井大晃(城東中) ▼中学女子シングルス①猪野萌子(オレンジJr) ②河野あゆみ(津島中)



▶どんど焼きの様子

家内安全、無病息災を祈願

◎愛治地区どんど焼き

愛治地区の新春恒例の行事である「どんど焼き」が1月11日、清水保育所横の広場で行われました。

この催しは、愛治活性化集団「来夢」と「母愛夢」が主催するもので、会場が神事が行われた後、約3mのやぐらに高々と積み上げられた門松やしめ飾

り、お札などに火がつけられました。

当日は雪が舞う厳しい寒さの中での実施となりましたが、参加者は、振舞われたぜんざいを食べながら、天高く舞い上がる炎を眺め、家内安全と無病息災を祈願しました。



▶地震車で震度6強を体験する児童

大規模地震を体験

◎日吉小学校避難訓練

12月18日、地震を想定した避難訓練が日吉小学校で行われ、教職員や児童らが参加しました。

訓練では、地震発生時の放送からグラウンドへの避難、人数確認など一連の流れを実施。あわてず避難できたか、私語をせず真剣に避難できたかなどを確認し、岩本恵子校長が「地震は、物が落ちてくるまでの5秒間が大事。訓練で、いつ災害が起きてもすぐ行動

できるように体にしみ込ませてください」と児童に呼びかけました。

その後、愛媛県で1台しかない地震車を使って、兵庫県南部地震や新潟地震など実際に起こった地震の揺れを体験。宇和島消防署職員の指導を受けながら、地震発生後の行動を実践しました。参加した児童にとつて、地震の怖さを肌で感じることができた貴重な経験となりました。